



土木全般等を学んだ講習会
=鹿児島市の県建設センターで

九州地区左官業組合連合会(神垣三次会長)は9日、鹿児島郡吉田町のゴルデンパームカントリークラブで親睦を開き、和氣あいあいと親睦を深めた結果、井園一男さんが優勝した。

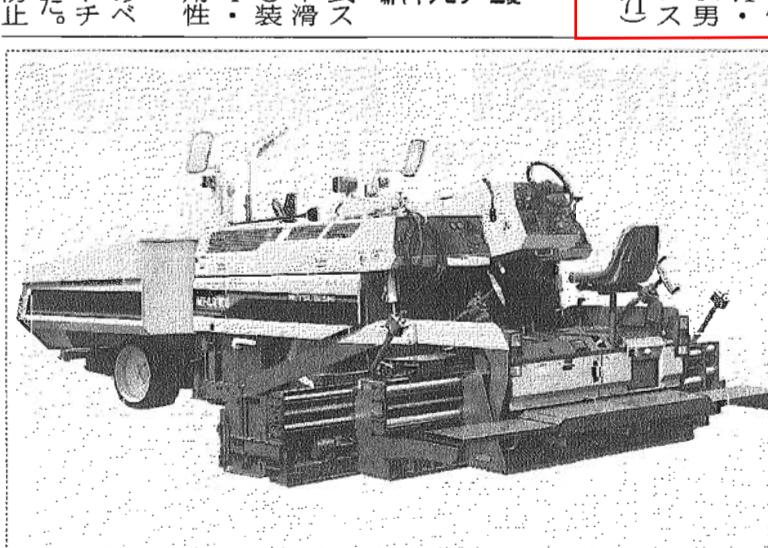
当時は、九州各県から57人が参加し、5月晴れの絶好のゴルフ日和の中、午前7時30分プレーをス

タート、朝のさわやかな天気も、次第に暑さが増し汗ばむ陽気ながらも、参加者は和やかにプレー



和気あいあいと親睦を深めたゴルフ大会
=吉田町のゴルデンパームカントリークラブで

最大舗装幅を拡大
新キャタピラーミニショット MF43WD等販売



自動循環式
販売店
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ

報酬(8042-764
• 8622)まで。

15年度1級土木施工管理技術検定試験(学科)
の受験準備講習会(財地
域開発研究所主催)は14
日、鹿児島市の県建設セ

ンターで始まり、7月6
日の本番に向けて約90人
が3日間講習に入った。
講習初日は、飯田建設
(株)の権藤巧氏が土木全般、

JIA、大字根弘司
会長)は、建築家資格制度試行の登録受け付けを10月にも開始する。会員に制度の趣旨を周知するため、きょう15日発行の会誌「建築家」に、「建築家資格制度試行に向けて」と題した増刊号を添付する。

約2年間の試行により、「実績認定コース」と「実務訓練コース」を合わせて4000人の参加登録を見込んでいる。小倉善明副会長は14日の会見で、「社会的制度として定着させるために、制度試行の段階が大切」と話し、積極的な参加を働きかけている方針を示した。

日本建築士会連合会(日建士連、宮本忠長会長)が提唱する専攻建築士制度のうち、設計専攻建築士分野を対象に「新たな建築資格制度創設に向けた基本合意」を交わした。この中では、建築士法制度や建築教育制度の抜本的改革も視野に入れた新

IJAは昨年11月、会員が品質管理について基準テキストに基づき講義した。2日、3日目はコンクリート基礎・法規、施工計画・管理、安全管理、過去問演習などを行

学科試験は、福岡、沖縄など全国13会場で実施され、8月20日に合格者が発表される。

井園一男さんが優勝した。大会はゴルフ好きの精銳が集まり、熱戦に次ぐ熱戦が繰り広げられ、ダブルペリア方式での結果、アウト、イン手堅くまとめた井園さんがネット71・2で見事優勝に輝いた。また、アウト40、イン31の71の好成績で、下野高広氏(有下野工業社長)がベントグラス賞を手にした。

川路益満県左官業協同組合長は「大いに親睦を深めながら楽しんでほしい」と語った。主な成績は次の通り。

優勝=井園一男(ネット71・8)△3位=町永秋男(同72)△ベストクロス賞=下野高広(クロス71)

日高さん(右)に激励金を手渡す瀧園会長(中央)と梅木委員長=鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で、技能五

競技課題も事前に分かれないので、過去の課題を参考に訓練を続いている。木工技術の表現は異なる所がある。競技課題も事前に分かれていますが、精一杯がんばります」と御礼を述べた。

10月から登録受付

JIAは昨年11月、会員を対象にする「実績認定コース」と「実務訓練コース」を合わせて4000人の参加登録を見込んでいる。小倉善明副会長は14日の会見で、「社会的制度として定着させるために、制度試行の段階が大切」と話し、積極的な参加を働きかけている方針を示した。

これを踏まえ、JIAは1月から四つのWGで制度の具体化を進め、3月の臨時理事会で基本方針を決めた。建築家資格制度創設に向けて定着させるために、制度試行の段階が大切」と話し、積極的な参加を働きかけている方針を示した。

試行に当たっては、会員を対象にする「実績認定コース」と、建築家を目指す若手設計者が対象の「実務訓練コース」を設立する。今年秋(10月)をめどに登録受け付けを開始。おおむね2年間の試行期間でさらに制度内容を検討する。

井高さん(右)に激励金を手渡す瀧園会長(中央)と梅木委員長=鹿児島市の鹿児島高等技術専門校で、技能五

競技課題も事前に分かれていますが、精一杯がんばります」と御礼を述べた。

井高さんの指導に当たっている米藏課長は「日本の表現と世界の表現は異なる所がある。競技課題も事前に分かれていますが、精一杯がんばります」と御礼を述べた。